

理事会報告

平成八年四月二十五日に、大阪凌霜クラブで、下記事項が討議・決定された。

1. H.7年度分の「決算報告」

森内理事 (S.56 卒)

(H.7.4.1 ~ H.8.3.31)

〈収入の部〉 (単位:円)

項目	予 算	実 績
前年度繰越	3,913,676	3,913,676
会 費	2,400,000	2,477,000
そ の 他	120,000	231,459
収 入 計	6,433,676	6,622,135

〈支出の部〉 (単位:円)

項目	予 算	実 績
クラブ運営費	300,000	323,744
会報作成費	280,000	275,994
通 信 費	100,000	31,950
協 会 費	20,000	19,500
現 役 補 助	1,500,000	473,000
三商大補助	50,000	0
OB合宿補助	300,000	300,000
総会運営費	400,000	407,206
監 督 費	400,000	243,959
会 議 費	100,000	33,866
雑 費	50,000	36,346
次期繰越	2,933,676	4,476,570
収 入 計	6,433,676	6,622,135

収 入	-	支 出	=	繰越金
6,622,135		2,145,565		4,476,570
				内 訳
		三和銀行		549,541
		住友銀行		1,863,853
		郵便局		1,960,703
		現 金		102,473

収入) 会 費: S.25年卒以前のOBはH.8以降は会費免除。お気持ちのある方はご自由にご出資下さい。
 その他: 故岸野氏 (H.3卒) のご家族の方より、現役のボール代にとご寄付をいただきました。

支出) 収入に対し支出が少ないのは、現役補助の予算150万円に対し、実績50万円による。

2. H.8の事業計画と予算。

H.8年度「予 算」 (H.8.4.1 ~ H.9.3.31)

〈収入の部〉 (単位:円)

項目	予 算	実 績
前年度繰越	4,476,570	
会 費	2,400,000	
そ の 他	120,000	
収 入 計	6,996,570	

〈支出の部〉 (単位:円)

項目	予 算	備 考
クラブ運営費	300,000	OB戦懇親会他
会報作成費	280,000	凌霜ラガー印刷費
通 信 費	100,000	切手、封筒代等
協 会 費	20,000	兵庫県ラグビー協会
現 役 補 助	1,500,000	合宿、練習器材
三商大補助	150,000	振込済
OB合宿補助	300,000	12名参加想定
総会運営費	400,000	案内費、会食費
監 督 費	400,000	打合せ会場費等
会 議 費	100,000	理事会費等
雑 費	50,000	
次期繰越	3,396,570	
収 入 計	6,996,570	

A) OB/現役の親善戦&懇親会。

例年どおり、平成8年4月29日に六甲台グラウンドで行うので、OB各位多数ご参加期待する。

B) 総会の開催について。

東京: 日程未定。世話人山下氏 (S.33卒)、原口氏 (S.43卒) に早期開催を依頼する。

本部: 昨年同様、現役の当期リーグ戦・初戦の日に行う。試合観戦後、総会とする。

☆スケジュールについては、日取り決定次第会員に往復ハガキで連絡する。

C) 現役補助について。

本年度は、150万円相当の現物支援にする。

昨年度、有効利用されなかったことを反省し、監督より年間支出計画表の作成を主務・マネージャーに指示の上、有効かつ計画的な補助を行うよう努める。

(続・理事会事項)

なお、日常練習用ボール購入代24万円(8千円×30個)と、三商戦補助(一橋大学にて開催)として15万円の援助依頼が現役よりあり、会長承認の上、振込済であることを報告する。

D) 夏合宿参加OBへの補助金について。
補助金(昨年同様)

宿泊される方に・・・2.5万円
日帰りの方に・・・1.5万円、を補助する。

☆このOB資格の見解
大学院生、及び、現役登録していない留年生にも補助金を支給する。

E) 監督費: 40万円とする。(前年並)

F) 会報費: 28万円とする。(#)

☆上記の諸項目を合算した、H.8の当会年次予算は、360万円です。皆様の会費により成り立つ予算です。会費ご納入頂きますようお願い申し上げます。

会員数は500名にならんとしていますが、その70%以上のご支援が必要なのです。

〈理事会談話録〉

♪本年度新入部員7名との報告を受け、部員減少への危惧の声が理事会参加者より上がる。積極的な部員勧誘活動の展開を現役に促すと共に、それに伴う支出をOB会でバックアップしようという意見が持ち上がり、承認を得る。

♪若手OBのOB会活動への積極的参加を推進すべく、総会を気安い中華料理店に設定するなど趣向を凝らしてはどうかとの声上がる。その他、アトラクションとして抽選会等の提案があった。

〈当日参加理事(他)〉

田中初雄(S.12) 今津隆男(S.23) 西松理夫(S.31)
安中一雄(S.32・監事) 葉室力(S.43・現役の監督)
浜田 信(S.33・会報担当の代行として、H.4卒の村田裕子(株)が出席し、当号の“理事会報告”欄の記事を担当した。)

凌ラ・親睦ゴルフ会の近況

記: 吉川邦英(S.51 (株)ベルモント社長 凌ラ・ゴルフ会現幹事)

平成7年12月10日 午前9時31分 関西ゴルフ倶楽部 アウトコース。数年振りに再開された凌霜ラークラブゴルフ親睦会コンペ。アウトNo.1ホール太田奎吾会長の第一打は初冬の青空に高々と・・・とはいかず、若干トップ気味ながらもともあれフェアウエーセンター。永井氏(昭和31年卒)は堅実なショットで同じくフェアウエーキープ。葉室氏(昭和43年卒)は豪快なアタリでフェアウエーバンカーを飛び越え左ラフ。小生(吉川 昭和51年卒)はスライスでOB寸前の右ラフ。かくして18ホールの幕開けとなった。

年末であることに加え、連絡に余裕がなかったこともあり、当日参加は後続のもう一組、山形氏(昭和52年卒)山之端氏(昭和53年卒)、東川氏(昭和62年卒)、吉田氏(平成2年卒)合計8名であったが、結果としては少人数ゆえにかえってアツドホームな雰囲気太田会長を囲み、ラグビー&ゴルフ談義で大いに盛り上がった。当日参加者の総意として、今後も定期的に親睦コンペを続けること、参加者も年代にこだわらず広く募ることの確認がなされた。肝心のスコアについて記録を残さなかったのですが、ダブルペリア方式で計算し、吉田氏が第一位、二位以下は不詳(これまた幹事の不手際!)。まあ、こんな感じでありスコアとか勝負にこだわらずOB各位の交流と親睦を目的として、これからも続けたいと思っています。

次回は4月14日に確定。前・名幹事の永井氏のご好意により宝塚高原で開催することとし、散会した。小生が担当幹事になって、第二回目がこれです。3月7日現在、参加希望者17名戴っています。

尚、ゴルフ親睦会の連絡について以前にアンケートも実施したのですが、回収率が往復ハガキであったにもかかわらず、50%以下で結局参考にならず。通信費も安くはないものですから関西圏在住のゴルフをされそうなOBの方々限定して案内を差し上げています。

第三回以後の案内をご希望の方は、下記までご連絡下さい。

〈凌霜ラガー親睦ゴルフ会の連絡先〉

凌ラ・ゴルフ会幹事: 吉川邦英宛

〒542 大阪市中央区東心斎橋2-1-1 (株)ベルモント 気付

TEL 06-213-5945

FAX 06-212-3680

〈現役近況〉

＝現役首脳陣表明＝

H8・Capt 則定 克仁 (J.4、Rock)

春まだ浅き此の3月、六甲台Gで既に新チームが一丸となつて練習に励んでいます。

今年のコセプトは、我武者羅に“前へ、前へと、ヒタ向きに相手GLを目指す”事です。

Fwsを中心としてのサイド攻撃・ライン・アウトからの攻撃を主眼にし度い。従つて、Bksも、あまり大きく展開せず、9・10・12・13がFws近辺で勝負する事を考えています。

タテ、縦、タテ！で、やってみます。このため、此の時期は、下半身の強化を中心にコンタクト・プレーを多く取り入れる練習を主力として励んでいる所なのです。

今シーズンをこのような方針で戦い、勝つて行くつもりですので、O.B各位の一層のご支援と応援の程、よろしくお願い致します。

F.Wリーダー 久保 孝明 (A.4、No.8)

今年のチームの特徴についての首脳陣認識は、F.W主体と言う所にポイントを置いていますので、F.Wの強化は最重要課題なのです。

此のテーマの具現化にはリーダーとして、次の5点を強化力点として鍛えたい。

- ①セットプレー(スクラム、ラインアウト)の安定。
- ②モール・ラックへの素早く・強い集散。
- ③コーリングの徹底と飽くなきボール緊ぎ。
- ④他人まかせにしないタックル。
- ⑤下半身を中心とするウェイト・トレーニングの強化。

①は、ゲームの組立上で最も重要な点なので、これについては、確り時間を割いて練習を行う。

②③&④の点について“各個人の意識”が必要なので、日々の練習時からの反復・積み重ね・習慣化を課し、尚且つ“練習試合中に於いての不足者には遠慮会釈なく強い要請をする”。

要は、今年のF.Wはボールを持つたら真直ぐ突っ込む、味方フォローア－に最適コーリングで緊ぎ、継ぐ。突入してくる相手には確実なタックルで断つ。といった基本プレーの確立を第一の目標に掲げる。その目標の達成度がリーグ戦の活躍度と比例するのでより良い結果を得べく全員で努力したい。

H8・V.Capt 竹内 吉人 (D.4、S.O)

ポジション柄Bksを主体に今チームを視ますと、①昨年のレギュラーの大半が抜けた、②部員数が少ない、等々から考えますと、現状は厳しいものが在りますが、それを補うべく部員全員が秋のリーグ戦を目標に日々練習に励んでいます。

今年のコセプトは、例年以上に強いFwsを活用させる。活用にコーディネイトするワーク・プレーをする。そのためにはオフエンス面では、Fws近辺でポイントを作りマイ・ボール継続に努力する。ディフェンス面では、積極的に前へ詰めて、相手がスピードに乗る前に潰す、を目標とする。

此の様な方針で、秋に好結果を得ることを期しての努力していますので、O.B各位に於かれましては、我々の指向性ご理解と共に、更なるご指導・ご支援下さる様お願い致します。

B.Kリーダー 一色 賢 (J.4、Fbk)

今年のコセプトは人数的に、ライン2本つくるのがヤツトという最近希なる少人数状態でスタートします。昨メンバー経験者はハーフ団だけという。残りは経験不足もよい所、然し、反面それだけに例年になく各自にチャンスがあるとも言えます。

個人の技術・体力面のレベルアップは勿論のこと、Bkというユニットとしてのスキルを向上させることが不可欠だと思っています。それは、オフエンス・ディフェンス両面について必要なのですが、取分けディフェンスは「鋭い出足で相手にプレッシャーをかけ、まともに展開させないくらいにしたい」と思っています。

取りあえず、「F.Wを前へ出し得るB.Kに！」

また、B.K各自には様々な状況の中で「判断」して「意図」したプレーをしてもらいたい。平素から、そういったプレーを行っているならば、それでも生ずるプレーヤー間の連携錯誤については、直近の間に話し合い・修正の再現プレー等によって、チームの意志の再統一を図り、ユニット・スキルのアップに緊ぎ得るであろうし、それ等が次の試合内容の一段向上性へ資し得るものと考えています。

(ゴール・キッカーの育成にも力を注いで頂き度い)

主務 有地 英之 (E.4、W.TB)

1. 今年の新入部員が4月時点で8人と少なく、このままだと現在55人で当部目標の60人を割るので、副務の実光(ジッコウ/J3/Rock)と共に例年に無い勧誘を行い何とか+5人獲得したいものと努力中です。
2. 今年のコセプトは、土曜日は全体練習、日曜日は試合です。春季および夏合宿予定についてご報告致しますので会報広報お願い致します。(別掲載)

今年には東京遠征の年でもあり、部員一同全力で頑張る事でしょう。私も当部がスムーズで効率良く運ぶ様に努力します。O.Bの方にご指導・支援の御礼と継続方お願い申し上げます。

(現役諸君から承る所では、新陣容はFws37、Bks18、合計55名だから手薄かなとの向きも在るらしいが、一O.Bの私見では、これでよいのです。コレデ、ガンバレ！)

H.8、現役・首脳陣 紹介

則定 克仁	Capt	Rock	(J)
竹内 吉人	V.Capt	S.O	(D)
久保 孝明	Fws, Leader	No, 8	(A)
一色 肇	Bks, Leader	F, Bk	(J)
有地 英之	主務	W, T.B	(E)
實光 力	副務	Rock	(J)

現役・H.8 春季試合スケジュール

	対戦相手	KickOff	場所
4/21(日)	神大 VS 大阪大	13:00	大阪大 G
4/28(日)	三商大戦 大市大	13:00	大市大 G
4/29(祝)	現役 VS 凌霜ラガー	14:00	六甲台 G
☆5/4(祝)	三商大戦 一橋大	14:00	一橋大 G
(一ツ橋大に勝利した!!)			
5/12(日)	神大 VS 大教大	14:00	大教大 G
5/19(日)	神大 VS 立命大		立命大 G
6/2(日)	神大 VS 関学大	14:00	関学大 G
6/8(土)	神大 VS 大経大	14:00	大経大 G
6/9(日)	神大 VS 大産大	13:00	六甲台 G
☆その他に、5/19から開催される近畿国・公立大 学ラ対抗にも訓練を兼ねて参加する予定。			

現役・H.8 夏合宿スケジュール

期間

H.8・8月14日(水)～8月21日(木)

場所

長野県・菅平

“ホワイト・ダボス・マサキ”の予定(昨年同様)

長野県・小県郡・真田町・菅平高原

Tel: 0268-74-2673

☆O.B 諸氏の指導参加をお願い致します。

現役陣がオオ飯を食らい、少数ボールでチンタラ
避暑気分合宿にならぬ様にお目付け願います。

H.8. 卒業生の進路

川畑輝郎	A.コンサル	佐藤ひふみ (T)	研 究 生
大久保旬	ニチレイ	安田篤司 (T)	大学院生
大森 亘	住友海上	安武俊雄 (T)	大学院生
加福 淳	第一勧銀	宮本彩人 (T)	大学院生
辻 一典	東京海上	橋本 歩 (T)	大学院生
富永和元	住友銀行	青井貴之 (M)	医5回生
藤川 順	富士銀行	坂本裕之 (E)	経5回生
溝口和行	日本生命		
宮本賢一	大分県庁	岡端正芳	H.8. 留年
山田博之	伊藤忠	市東剛将	"
小浜 恵	関西電力	高橋 出	"
久森紀子	大丸百貨		

現役、クラブの方々へ

娘の分の“しあわせ”を皆様に。

更なるご発展・ご奮闘を祈りつつ。

岸野幸子 (H.3卒、岸野圭良子・母)

拝啓

昨年(の)猛暑より7ヶ月、紅葉も厳冬も過ぎ、やがて桜の季節が訪れようとしています。娘・圭良子の通夜・告別式には、遠路そしてお忙しい中、クラブの沢山の皆様にお見送り戴きまして誠に有難うございました。加えまして、球友様方からの悼みのサイン・ラグビー・ボールもお添え頂き、娘も、何よりも嬉しくも心丈夫だった事でしょう。

そして又、同じ頃にマネージャーとしてご一緒させて頂いた村田様が直近の総会・会報でお述べ下さいました故・娘への温かいご弔辞、胸一杯で、嬉しく拝見させて頂きました。

娘は、部の仲間の皆様の生き方を目標にし、それに刺激されつつ自分も頑張り向上させ、しかも楽しく4年間を過ごさせて頂きました。この人生上の貴重な期間に、大切な、そして良き沢山の思い出を、皆様から戴きました。

こう言った事柄がばねとなり、いつも前向きに・立派に・物事に対処していた様に思われます。これも皆様のお陰だと感謝しております。

その後も、その体験を支えに、これから社会に貢献せねばと、社会人生活に励んでいたのですが。そんな努力も半ば、沢山の夢・大きな目標を残したまま、余りにも早く旅立ちました。悔しく・悲しく・残念です。

そして、まだまだ沢山の“幸せ”をも残していきましました。この残していった“しあわせ”を皆様で使ってくださいます事をお願い致しまして、遅くなりましたがお礼状とさせて頂き戴きます。有り難うございました。

凌霜と現役の皆様の御健康・御活躍を祈りつつ。

かしこ

平成8年3月1日

岸野 幸子

P/Sラグビー・ボール代にと同封致しました。

供養にと、お受取り下さいませ。

☆現役諸君! 岸野家からの志を有効に活用させて頂くため、各員一層の奮励努力しましょう。

H.8のO.B / 現役・対抗戦&懇親会

恒例通り4/29・六甲台で挙。曇り。

〈親善マッチ〉14:00 K.Off 30Min-Half.

O.B(9T・2G) 49 vs 5 (1T)現役。O.Bの圧勝。

ここ数年は現役勝利だったので今年、7人参加でO.B軍の主メンバーを構成したH.8組は、特に、圧勝ラグビーの楽しさを満喫出来た様です。

☆反面、ボロ家々の今年の現役陣への心配が湧き出てO.Bからの「新現役チームに対するアドバイス」があるので現役諸君は「本紙5P.&6Rを精読」して秋・本番へ備え錬磨して貰いたい。

〈懇親会〉於・六甲台学食。参加O.B40名と古参現役50名+新入部員14名、総員百余の盛会。

挨拶：滝澤先生(本学経済学部教授・現役部部長)、

乾杯：田中初雄(S.12)、監督発意：葉室氏(S.43)、

コーチ陣から：阪下氏(S.48)等から励ましの言葉を、

司会：竹峰氏(H.7)で進行。

参集した各O.Bからの所感・近況等の発表。

現役新首脳決意表明、新入部員紹介(14人入部)。

和やかに時が過ぎ、商神斉唱で盛会に幕。

☆当日参加された新進気鋭のO.Bからの指針を頂く。

現役諸君へ

「デキル事をヤル」と言うこと

森岡 礼次(H.1卒・夢の台高教員)

4/29 O.B戦に出席した後、「現役諸君に何かアドバイスを」との会報寄稿依頼があった。

柄でも無いので断ったが断れ切れず書く羽目になってしまったので、思いつくまま下記します。

自分が現役の時代は、神大ラグビー部は結構強く、4回生・5回生時2年連続で3位の成績を取めた。おかげで祝勝会でうまい酒を飲むことも比較的多くあったのだが、自分達が練習や試合の中で常に心掛けていたのは「下手は下手なりにデキル事をヤル」と言うことだった。

先程、自分がいた時代は強かったと書いたが、これは4年目・5年目(自分は留年した)の事でそれ以前の3年間は苦しいシーズンを送った。2年間で6位で過ごした後、3年目にはとうとう最下位、そして入れ替え戦もからうじて引き分けで残留を決めるような状態だった。

この3年間の試合の中で、自分達が得たものは「自分達はラグビー・プレーヤーとしては決して才能があるわけではなく、どちらかと言えばカスの集まりだ」と言う認識であった(然し、この苦しい時期に於いて、それでもBリーグ残留という結果を残してくれた先輩方には、本当に感謝しています。

4回生になった時、自分達が変わった事は「自分達は弱いのだ」と言う事を素直に認識出来た事であろうか。その時以来、自分達は「弱いなりにデキル事を精一杯ヤロウ」と言う姿勢でラグビーをするようになった。

週一回の神戸製鋼の練習では、教わった事を逐一ノートに取り、注意点を確認しながら大学で反復練習した。ディフェンスなど、巧く行かない点は質問し、自分達が出来る最も有効な方法をアドバイスを元に話し合っただけで決めた。自分達に欠けているプレーを自分なりに考え、それに見合った練習方法等も考えてみた。

その結果、秋のシーズンを迎えた時、自分達がすべき事、自分達がやりたい事が不思議と分かるようになり、試合でも計画性をもってプレー出来るようになった。

3位になれた原因には幾つかのことが挙げられると思うが「デキルことを精一杯ヤッタ」ことが矢張り一番の大きな要因だったと思う。

4/29のO.B戦を見ていて、気になる事は、現役諸

君に元気が今一つ感じられなかった事である。現役諸君は自分達がデキル事を、果たしてヤロウとしていたのだろうか。力的に取けている時、自分達に先ずデキル事は、元気を出して、声を出して、前向きに事に当たろうとすることではないだろうか。一つ一つのプレーを粘り強く、前向きにやる、その事の積み重ねが一つのトライを生み、二つのトライを生みして行くのだと思うのである。その「デキル事」として一番最初にある「声」が少なかった事は、矢張り今後の課題として、考え直すべき点の一つではないだろうか。

秋に良い結果を出すためには、方法はただ一つ、一人一人が自分の役割と言うものを自覚し、地道に努力して行く事である。そのために「デキル事をきっちりヤル」と言う姿勢を持ち続けてほしいと思う。

現役が勝てばO.Bも嬉しいし、何よりも現役諸君自身が最も嬉しい筈である。ヤルからには勝とう。そしてうまい酒を飲もう。何よりも自分自身のため……

最後に一つ。ディフェンスの強いチームは強い。強いディフェンスの出来るチームを作してほしいと思う。

久し振りの六甲台、又訪れたい六甲台

吉田 一毅(H.5卒)

今年(H.8)4月29日に、私が大学を卒業して初めてO.B戦に行く事が出来ました。

面識の無い現役諸君も多かったのですが、当日車椅子で試合を観ていたのが私です、と言えおわかりでしょう。

私は4回生の時、練習中の不慮の事故による重度の後遺症のため今の生活を余儀なくさせられています。当時を思い返すと、多少の気の緩みもあったでしょう。以来、TVでラグビーを観てもケガの記憶のせいか「やはり、少しコワイなア」との気持ちがありました。

O.B戦への誘いがあった時「ケガをした場所やしなア」との迷いもあり又出掛けるには人手が要るといふ遠慮もあったのですが、車での迎えが来てくれ久々に母校を訪れる事になりました。

いろいろな思いもありましたが、試合を観るうちに熱中している自分があった事にフト気づき我ながら意外に思ったものでした。そういえば障害を受けてから今迄ラグビーをやつてなければ良かったのにと思った事は無かった様に思います。

来年も行こうと思います。また皆さんのご協力が必要ですがその点宜しく願います。

とても楽しい一日を過ごせた事をO.B諸氏、現役諸君、そして同期の皆さんに感謝します。

私が、不自由な車椅子で行くのですから、もっと多くのO.Bに集まって貰いたいものです。

当会の更なる発展と、現役の一層の奮起を願うと共に連絡先変更ありますので下記通りご連絡迄。

〒651-21 神戸市西区宮下1-26-2

TEL. 078-924-7525

Do Co Mo 080-98-25834

☆ 現役・新チームの諸君へ

4/29 O.B戦と5/4 一ツ橋戦の二つ共観戦した先輩達から、今後夏合宿迄に「改善すべきキイポイント」下記提示します。謙虚に受けて努力され秋に好結果を得られる様、O.B一同願っています。

対・一ツ橋大戦の短感

名取 幸男 (S.30 卒)

5/4観戦。当日は主将・副主将他主力メンバーの欠場が多く、コンビネーション・プレーが円滑に行かなかったであろう事には同情しますが、今後の改善の一助にして戴きたい点、詳しくは室賀氏から述べて戴くとし、小生からは短感で下記提言します。

1. Fwについて。

(当日はベスト・メンバーでは無かつたらしいが)ライン・アウトでのジャンプが低く、公式戦では劣勢・苦戦するであろう。ジャンプ力の強化要。

又、近い将来的視点から言うとな人勧誘時には上背のある奴をクドキ落とす要。

スクラム：押される時バック弱。バック強化要。

2. H.B団について。(特にS.H)

前半のS.Hは前への突進力優れ仲なが良い。相手25M内で有効間違いないが、遠いポイントから多用し過ぎると覚えられる。遠い場面ではS.Oを苦くさせない様に、More quick & steadyパスが出せる様に修練要。

後半のS.HはS.Oへのパス安定度・速さ・良い。が、当日あまり強く無かつたFwのL.Out争い面でもFwを前へ出さんとし過ぎてか、無駄キック過多。局面理解が出来ないのか。ドグマ遵守し過ぎか。

首脳陣へ要請・次期S.H育成に力を注げ。

☆今年の方針を貫くのなら、逆にフランカー強化を。

3. T.B陣について。

12 CTB良く抜けていたが、あまり巧過ぎフォローワーが居らんのが難。もう少し味方がフォローし易いコース採りするとか、何とかフォローワーが近づくとか、やや近付易い方へ立直してやるとか、咄嗟の内にも、コース採りに配慮要。又、フォローワーもT.B、FLを問わず良くフォローしてやり、単独突進に終わらせず、どっちにフォローしているのかコーリングを大きく掛けて球を繋いで行く。これを反駁練習すると好結果得られるでしょう。

指摘点に改善努力し向上される様願って。

一ツ橋大戦観戦記

室賀 隆 (S.43 卒)

5月4日、国立の一ツ橋大グラウンドに着くと、名取さん(S.30)、松下さん・小玉さん(S.39)が既に来て居られた。

此のGの土質は関東特有の柔らかい黒土なので、つい先日・4/29のO.B戦で六甲台の堅い赤土のGを見てきたばかりの身には羨ましい限りだ。

試合は得点的には神戸大が勝った。

まずは「現役新チームの諸君、祝勝」。然し、試合時間の殆どを自陣で戦うという展開だったので「ラ

グビーに負けて勝負に勝った」と言う所か。ただ、CaptもV.Captをも怪我で欠いていた状態を考えると、良くヤツタとも言える。

以下、当日応援観戦した40.Bと、横河電気ラグビー部の松下氏(松下さんの息子さん)等の所感を纏めてみます。甘口は少いで、辛口が多いのは世の常です、が意見は的を突いていますし、活用すれば秋に良い実を取獲出来ますよ。ドドイツにもこんなウタがあるでしょう「親の意見と茄子びの花にや千に一つの徒花も無い」と言うのが。

(深い意味の解らん人は、お祖母ちゃんに聴イテミ。)

①タックル・当たり。

最近観た試合の内では一番良かった。要継続。

②スクラム

殊に後半、メクラレタ。要・バック強化。

③ライン・アウト

Catching-Pointが低過ぎる、Miss a ballが多過ぎる。一ツ橋がヤレテイタ様にやり返せ。アンタラカテ出来る。要・モット高く・確実捕球。

④殊にフランカー&その他のFw

今年の方針は、Fw中心だと聞いている。ならばその核になるべきは第3列だがNo.6 & 7は前進時、Df時あまり目立たないのが残念。Scrum押す事ばかりに力を注ぎ過ぎて、肝心のボールが今どこに在るのか判って居ないのでは？

特に、ディフェンス時の追方・コースの切り替えが悪いのでこれの修正を要する。

⑤Bkについては、全体的にパスが後ろ目。

前え目のパスを通すことでラインを前に上げるという形が欲しい。

⑥次に、戦術的な点。

一言でいうと、「何処でポイントを作るのかということが明確でない、或いは全員に浸透していないのではないか？」

Fwでタテ・タテと行くつもりなら、相手Fwをモールに巻き込み数の差を作って置かねばならないが、何となくポイントが出来てしまうので相手Fwがサイドに十分に残っている状態になっている。

モールからの球出しは、Bkに回すのかFwでサイドを突くのかその場面状況次第素早く先手を出してこそ効果が上がるが、此の試合での現状は「押せるだけ押して、止まったらその時点で出せば良い的に見られても仕方ない様な押し方・出し方」になっていた。モールは一度止まってしまうと今度は逆に押し返される事が多々在る。押し返された状態で球出ししてもそれは死んだ球なのです。

味方が押し相手ディフェンスが後退しつつある段階での次の攻撃に応じた「押し方・出し方」を考えて実行出来るように研鑽して下さい。

⑦その他

キックオフの狙い所、ペナルティキックを得て要速攻時の集散について。

現況では常に一人が突っ込むだけなので孤立。

いろいろ挙げましたね。

シーズン初期・Capt & V.Captを欠いての試合だった・仕上がり状態では無い・・・等々解っています。だが勝った。今年のチームは夏合宿の過ごし方次第で更に良くなる可能性ありとみています。

今後の努力に大いに期待して。(以上)

戦後・凌霜ラグビー事始め

平木 幹夫 (S.27卒・(株)ヨネイ)

つらつら名簿を眺めていると、若い若いと思っていた私も若い人達から見れば大先輩と言われる年代に成った様で感無量です。

私達の時代、即ち終戦直後の凌霜ラガーがどんなものであったか、当時を振り返り若干思いつくままに書いてみます。

私は昭和22年から昭和26年迄プレーしましたがその頃は未だ食べるものも碌に無く全員モヤシの様にヒョロヒョロの体格で、本学も大講堂やプール等は進駐軍に接収されていたのです。尚又本学の上の台地も下の台地も周り全てが接収されアメリカ風の小綺麗な宿舎が立並んでいましたし我々の練習中に突如進駐軍将校がヘリコプターでグラウンドに降り立つと言った傍若無人の振舞いがあったり、練習後、プールサイドで日光浴するビキニ姿をグラウンド南端より見下ろしてカルチャーショックを感じたり、と言った状況でした。

さて、この様な状況下での吾がラグビー部ですが、先ずメンバーとは言えば、根こそぎ集めても15名ギリギリ、一人でも出で来られ無くなると試合も危くなると言った綱渡りの状態でした。

次いで、経験歴についてですが、昭和23年に伊東・船曳・今津、昭和25年に岡田・松田、ほかの諸先輩方が相次いで卒業されると、吾々の仲間及びそのあと2年位の人達になる訳ですが、その大部分はラグビーを見た事はあるが、やった事は無いと言うのが大部分。経験者と言え、わずか柏木(S.26)、永田・太田(S.27)位。フォワード柏木、バックス太田の指導の下にモヤシ族が練習していた訳ですが、

その指導たるや、

「ボール持ったらやなー、敵目掛けて真っ直ぐに突っ込むんや。そいでヒールアウトしたら終いや」「敵が来たらやなー、太もも目掛けてバツツーンとタックルかますんや。手を廻して下へおろしたら、どんな奴でも一発や!」・・・と言った調子。

勿論、両リーダーにしたら、

「そんなアホなことあるかい。もつと色んな事言うたで」と言うかも知れぬが吾々シロトグループにはその程度しか頭に残っていない。要するに「バツツーン!」「バツツーン!」これが全て。お陰でフロントローの私などバツツーン・ザックリ、バツツーン・ザックリと切られの毎三郎。顔や頭に数箇所づつ合わせて20数針縫う始末。

「そんな事で先輩、試合に勝てましたんかいなア?」と、ご心配になる向きもあるうが、それがどうして仲々のものだったんですよ。

誇り得る戦跡についてお話ししましょうか。

昭和20年代の関西地域には本学の他に関学・京大・立命・同志社・関大・甲南・大商大(現在の大手大)・商船大・垂水の高商などがラグビー・チームを持つ

ていて、それらが対抗戦形式でゲームを行っていました。就中昭和22年のシーズンに於ける吾が神経大(現在の神戸大)は、前記の諸先輩をも擁し、当時日本最強チームの一つであった関学には大敗し、又立命館にも敗れたが、京大とは15-15で引分け、同志社をコテンパンにやっつけ、関西地域の対抗戦で三位になったと言う今では信じられない様な思い出もあるのです。

真偽の程は判りませんが、「神経大に敗れた」と聞いた同志社の監督は烈火の如く怒り「お前達は人間並みの練習では駄目だ!」と、馬場を走らせる猛烈なシゴキを始め、それが、その後の“強い同志社”を築くキツカケになった、と言う話もある位のものだったんですヨ。

ポツポツ締めのお話に入りましょうか。最近のラグビー界を視ますに、体格的にも技術的にも吾々の時代とは比較にならぬ程、改善・進歩しています。重量フォワードの力強いモール、目の覚める様なサイン・プレー等々吾々の血を沸かすプレーの数々を試合で見ることが出来ますが、矢張りボールを持って前へ前へと遮二無二突っ込むフォワード、只の一発で相手を仕留めるバックスのタックル、“これぞラグビー”と思うのは私だけでは無いでしょう。

“バツツーン” “バツツーン”、これぞラグビーの始まりであり同時に終わりでもあるのです。

戦後黎明期の凌霜ラガー。まあ、こんな調子でありました。

九州国に住む

(浪花で育ち、江戸も体験、今・鎮西)

玉置 誠 (S.60 日商岩井・九州支社)

重電・重機を商いつつ、その重さ幾万トンと言えども、耐えて・跳ね返している日々です。その底力の源は“人生は浪花節だよ〜ナニハのドゴンジョウ〜”精神なのです。

昨年の出張日数延べ100日、北は札幌、南は鹿児島・八丈島と全国行脚、出張が無くても略毎日取引先に顔を出している、オフィスは要りません。

天高・神大で青春時代を過ごし、社会人となって東京で4年半、大阪でも4年半勤務した後九州へ赴任して来て早2年半経過しました。

初体験の九州地の感想は、生活環境の良さ・通勤時間の短さ・新鮮な魚・・・等々だけを考えると、東京・大阪で勤める人々と同じ給料を貰っていて良いのかなどの感を抱かせるものが有りますが、転勤当初は、たかだか関門海峡を渡るだけで、経済・文化がエライ変わるモンヤナーと驚きました。百貨店も銀行も本州では聞き慣れない名前が多いし、文化面では質実剛健・男尊女卑の指向が尚根強く残ってるな〜と思いつつ、関西とか関西弁はスカンシファクションでも大阪を飛び超して(殆ど無視して)東京を意識している様に感じました。

スポーツに関しては、プロ野球・Jリーグ界が、設備も最近代的に整えてやっているの、現在この地でのラグビー界が、野球・サッカーと比べると人気・実力面で、曾っての輝かしい栄光から見て低下・見劣り傾向下に在るのが残念です。

高校迄は全国的に通ずる強いラグビー名門校を数多く有し、花園で雌雄を争う地域なのに、大学・社会人の対抗ではダンダン影が薄い地域になって行くようです。

その理由について、日々多忙な社業をこなしつつ観察・考察しています。

某取引先にもラグビー部があり、シーズンともなると一目でラガーと判る社員の方が、試合で負傷した痛みを堪えながらも社業接客に努めてらっしゃる姿をよくお見掛けします。此処のラグビー・チームは全国社会人大会の九州地区代表の常連さんですが壁は厚く仲々上位に入れれないのが実情の様です。三地区(九州・関西・関東)対抗戦で八幡製鉄を有し戦後永年筆頭者であった九州は、暫く松尾を有する釜石に日本一の座を譲りましたがこれとて我々の分身チームと思っていて東北は九州の子分ジャ位に考えていたのでは?その後覇権は神鋼・関西地区へ移ったのだがこれとてヒョットシテ鉄屋は本家九州の仲間ジャケン位と考えていたのでは?ともあれ、此の間14年は永く、社会・経済情勢も鉄から・石油・カー・ICチップスへと移行し、又地域的にも西日本から東京一極へと集中される幣が出て来たのに連れて九州の有力ラグビープレイヤーの大半が東京の・幾分かが関西の諸大学へ行きそのまま彼の地に居着いて九州へは帰って来ないからでしょう。

何かウツ手は無いのでしょうか?

福岡はアジアの玄関と言われています。事実福岡は東京～上海のほぼ中間点に位置しているし又ソウルなら大阪出張と同じ感覚なのです。去年の“ユニバーシアード福岡大会”も成功だった。福岡の名前も全国区、いや世界区になったろう。九州のラグビー界も、その地の利を生かしてアジア諸国に目を向け、アジア・ラグビーの拠点としてはどうかと考えたりするのです。島村先輩が視察して来られたオーストラリア風の“地域クラブ・システム”への転換がベストなんですがね。

私の近況は、出張勝なのでラグビーについてはプレーする側からの観戦する側に回っているのだが観戦しながら“こんなハードなモン。ヨー、ヤツツタナー”と我ながら感心しますよ。然しこれやってたから東奔西走できてるんやんか、と納得も出来る。

ラグビー、阪神タイガース、大阪のオ笑い……何れも此の“九州国”ではマイナーなんです、まわりの目を気にする事無く「おじゃま・しまんにやわ-」と取引先を回っているのです。

岸野さんに励まされて

有意義な現地生活を体験したい

堀口 小百合 (H.3 旧姓・高橋)

英国駐在勤務になった夫の元へ、一歳半の娘と共に来て三ヶ月を経、サマータイムが始まり、少し春の訪れを感じられる候になってまいりました。

さすがラグビーの本場と感心するのは、毎週末テレビ・ラジオで試合中継され又ニュースでも報道されますし、ペーパー類も有償・無償を問わずラグビーの記事が掲載されない事は無いと言うことです。

こんな好条件に囲まれているのに、今の私は幼い娘の育児に追われるわ・外出や買物には自車で行かねば不便なのに私は未だ此の地での運転に不慣れな為何時でも自由には出掛けられない。だから週一回の買物を、お店は日曜は殆どがお休みなので土曜にゆつくりと時間を掛けて纏めて済ませてしまいたいのに抱えの夫運転手さんは元ラガーだったから週末の本場ゲームをこの逃すべからざる好機に確り、たっぷり観蓄めして置きたいものだから買物運転手の時間は出来るだけ、ハジョツテ早く自宅へ帰ってT.V観戦しトライの度に歓声をあげ、幼娘もツラレテパチパチ手を叩いてバジャギまくるのを横目に見つつ、こっちは目下本場ラグビーを楽しむどころか、こんなラグビー狂的幼児教育で良いのかしらと娘の将来性不安!それと買物不便の自己不満の両面から本場ラグビーが悩みの種となっているのです。

「あーあ、これが私のイギリス・ライフ?」と想い悩む種はいろいろありますね。育児に手を取られ自分を研く時間が虚しく費えるのではとの焦燥が頭を持ち上げる時とか、異なる文化・言語の地での思うようにはトントンとは運ばない交渉事の煩わしさから、ふと日本を想う時、日本人社会にドツブリ浸かるのではなく、此の機会には少しでも現地に溶け込もうとする時等々の場合には、いつもいつも、少しの、イヤかなりの勇気が要るわけです。

「えーい」と勇気を出す時には、いつも良き相棒であり、常に好奇心旺盛だった岸野さんを思い出します。彼女が「くよくよ、イジイジしないで胸を張ってドーンと当たって見なさい」と笑顔で励ましてくれていると感ずるのです。曾ってと同じ様に。

いずれ日本に帰った時には、岸野さんに良い報告が出来る様に心臓を更に強くし、視野を広げ、異文化を好奇心旺盛に観まくり交際してみます。

訃 報

奥村松平様 (S.7卒)

H.7に亡くなられた由、御家人から通知。

井澤俊之様 (S.30卒)

当会の運営に永年貢献されていたが、H.8.4.1に亡くなられ、西宮山手会館で多数の参列者が集まり、神式葬儀営まれた。

此処に謹んで、御冥福を御祈り申し上げます。

続・オーストラリアン・ラグビー事情

島村 邦雄 (S.25卒)

はじめに

会員・現役の皆様、私が滞・豪州中に未曾有の大震災に遭遇され、大小の被害を被られた事と推測、心配致し、遅ればせながらお見舞い申し上げます。

さて、本論の続きです。

前号で、次の様にお話しました。

此の地でのラグビーは3種に大別されます。

- ①一番人気、6才児からジュニアとして幅広く参加出来る、13人編成の“リーグ”。
- ②次いで、攻防目まぐるしい“A・ルールズ”
- ③日本人が信奉して止まない、15人編成の“ユニオン”の3つでしたネ。

その内、幼少のリーグ部門の育成については既に触れました。

今回は、青年・壮年の部の連中の楽しみ方、についてお話ししましょう。

滞在していた豪州国・新南ウェールズ州・カウラ町は人口八千人ですが、前回述べた幼少リーグ3クラブの他に、今回述べるこの町を代表するクラブとでも言うかのカウラ・マグパイス(リーグ)とカウラ・イーグルス(ユニオン)なる2クラブをも持っているのです。

羨ましい事に、此の2クラブ共、其々の専用ホームグラウンドを有しているのです。而もシャワー付更衣室・ノーサイド後のミーティング・ルーム付きですよ。

☆ (シニア) リーグも、ユニオンも毎週末に、近隣の10の町々と Home & Away で Game しています。(クラブ・チーム毎の試合の多さも基盤強さの源か)

☆ 町選抜軍のメンバー構成は、18以上・22~26才位が主力です。ユニオンの方が高年齢になります。各人、各種の職業に従事していて、ラグビー好きだからこそ、自発的に週2~3回、夜に集まって来て練習して、毎週末に近隣他クラブと試合。

そのうちに、光る奴は自然に判って来ます。

(□大学、○企業で何年やったからと言う企業・組織丸抱え制が良いのか、はた又、クラブ・有能選手選抜制の方がより強く成るのか要思案処)

☆ 此れ程に熱中するラグビーも、オフには完全に縁を切る、のは日本人から見ると不思議です。

☆ 応援についてお話ししましょう。

ジュニア辺りでは、可愛い選手を送ってきた両親が自分達の子に気合いを入れつつ、そのまま観客になると言う程度ですが。リーグ・ユニオン級の公式戦ともなると町中の人、ニイチャン・ネイチャンは勿論、オツチャン・オバチャン・ジイチャン・バアチャン、果てはワンチャンまでが、毛布と熱い紅茶にビスケットを持って押し掛けて来ます。地元チームのトライの度に、音の出るモノなら何でもヒッパタキ、車中観戦の人はクラクションを鳴らして喜ぶ

し、一方遠征して来た側も自分側のトライには、遠慮会釈無く派手に大喜びします。

私のステイ先(主人は36才の高校教師、元オーストラリア高校代表のロック、現J.R.リーグ1級レフェリー)のオーバーチャンも愉快的ラグビー・ファンとして、T.V放映される様なビッグ・ゲームの際にはT.Vのカブリツキに陣取り「Go, Go, Come-on, Tackle!」等と興奮・絶叫してますヨ。

☆ 対抗戦に出るプレーヤーには報酬が出ます。原資は、入場料(一人\$5で、観衆は500人位)とスポンサーからのカンパがこれに当てられるのです。

リーグのタニマチはカウラのモーターで、試合中から“終了次第皆様と一緒に当店でビールを!”などとアナウンスしています。

ユニオンの方は、市民がスポンサー。その上ユニオンは設備もより良いのを持っている(観客席つきのグラウンドとか、立派なクラブ・ハウスとか……)ので、終了後は自前のクラブ・ハウスでワーワー言いながら飲みます。選手専用でなく、観衆も収容出来る位デツカイ・ホールも持っているので、皆ここへ集まって来て\$2のビールを買って談笑するのです。

☆ 懇親会の雰囲気

カウラのユニオン(カウラ・イーグルス)が持っているクラブ・ハウスのホールで行われる会の雰囲気は真に At-home で、今まで未知だった人に対しても心から寛げ歓談出来ます。英国のパブの良き伝統を踏襲していると言えるでしょう。お好みのエールとかビールを自前で買って手にしつつ誰とでも楽しく談笑合います。

シャベル言葉はどうやら英語が基本の様ですが相手のも、誰か口の悪いのが“あれはナ、ズーズー弁の英語やで”と評している様な英語で而も可成飲んで喋るんですから、全部は聞き取れ無いで当たり前、一々まともに聞き返してたら座が白けるばかりだから大綱が判ったらコッチからはカンサイ弁英語でドシドシ応答して座を展開します。

外交の要点は

- ① 体格は貧弱、顔はノツペラで笑いもセンし、おまけに口数少なく、何を考えてるンか一向に解らんヤツチャと西欧人種に思わせん事。シャベレ!
- ② 前回オゴツてくれた奴には、今回はコッチがオゴル。所謂 Give & Take。

このルールさへ守っておれば、全く問題ありません。友もスグに出来ますヨ。

☆ 闘争心・技術面で感じた事柄。

- ① オーストラリアンは“ブツカリ合い”が大好きです。だから、アタッカーは何者のも恐れず真一文字に果敢に正面突破攻撃に来ます。対する、ディフェンダーも猛烈なタックルで阻もうとします。持って・前へ・の志向を好む様です。

観客の反応も、ユニオンのゲームに対して“すぐ蹴るからツマラン”と言います。N.Z対南アの試合を見ていてもツマラン様です。

ですから、リーグの方が人気があるのです。

②抜群の好キック。

15才位になって、キッカーを務めるプレーヤーなら、45度位のゴール・キックは殆ど決めます。未だその秘訣の鍵は発見出来ていないのですが、単に脚力・腹筋力の差だけでは無いと感じます。

③好キック+不屈の精神。

カウラ高校はカムデン高校との試合で旗色悪く、終盤迄14-20と押されていましたが、Time-up直前のトライで19-20と追上げ、そのゴール・キックをタッチ・ライン10m内側から蹴って決め、21-20で逆転勝を取めました。

その精神のタフさ、キック力、集中力には感心させられると言うか、感動させられますよ。

名も知られない田舎高校チームですらこんなに立派なゲームをするのですから、油の乗ったナショナル・チームが強いのは当然なんだと、桜のジャージーの前途の険しさ、遠かさを想うのです。

皆さんも一遍見学・研修に来ませんか。

「AUSTRALIA は、Nice Place デッセ。ホンマ。」

P/S フィジーのラグビー短感

オーストラリアから暇を見つけて一週間、フィジー島へ行って来ました。

此処のラグビー指向はユニオンの様です。勿論、両方共大事で必要なのですが、力点比較の見地から言うと“オーストラリアの当たり重視”に対して“フィジーは、ハンドリングとゲーム感重視”している様に見えます。

毎日、暇を見つけては近所の兄チャン・ラグーが集まって来て、「自分達の不備点の対策・修正」を「ゲーム方式での反復練習」で補習しています。

このやり方と熱意は是非学ぶべきです。

☆有効にやるには、自軍の不備点を知る必要在り、“アノ時アアやったから、アアやられた。けれども、コウやってたら、コウなったかもしれん。”

この‘アアやったから’というのがラグビーでは、記憶にしか残っていないのがイカン！記憶丈では今日取けた敗因が日々に薄れる。後日不備点再現し辛いから練習労力の割に修補の実が上がりません。

野球の様にスコア・ブックへ記する方式を採用せよ。それとも今マネージャーが付けている得点方式記録はアカン。それでは野球場のスコア・ボードと何ら変わらん。必要なのは相手の一球毎の配球クセとか守備陣形とか、バント作戦やと思つてライン間隔を詰めすぎたところをF.Bkに参加されて一人余りで突破されたんやなとか、後で詳しく解り、対策検討が出来る内容が必要。と考えるのです。

纏めアドバイスとして

①試合の内容が判り、不備点修正要請を首脳陣に進言出来るようなスコアラーを至急配備する事。

急には対処出来ません、と言うのなら

②当分間は首脳陣の内の一・二人が此の役をやってみると良いのです。

若手O.Bもヤッテルゾ！

現役も敗けるな！

月僧 正弥 (H.3卒 サンケイ新聞・姫路)

社会人としての勤めも120%こなしつつ、愛するラグビーも忘れ難く、勤・住、間近の姫路に在る「歩々ラガーズ」で、2年先輩の森岡さんと共々楽しくラガーっています。クラブ・メンバー数約50人。週一回集まり楽しめます。

此の地は、我が社の大O.B司馬遼太郎氏の祖先ゆかりの地とか、播州平野とか、赤トンボの唱歌とか、秀吉・千姫の姫路城などの歴史・文化面で光り過ぎですが、製鉄、科学や米・塩・醤油も有名ですし、又これから力説したいスポーツ面でも高校野球の姫工大付高も強いし、社会人ラグビー界も「我々の歩歩」の他に“姫路クラブ”も仲々良く活動していますし、取分け注目すべきは“鐘化高砂”がN・Zオールブラックスから10キャップ保有の有力二選手を招聘してA・リーグ入りを目指して努力している事です。

先日“鐘化高砂”と対戦の機会を得、後半からN・Zの二人が出場し彼等のプレーに直に接する事が出来ました。「スピード、正確なロングパス、倒された後の再参加への俊敏性とヒタ向きさ・・・」を実感出来ました。

この試合は、後半にN・Zの二人が参加してから殊に、一方的に敗れましたが、この二人の模範的なプレーに接したからか、なんとも言えない満足感と一方大いなる反省が残りました。それはあたかも少年野球・サッカー教室の児童達がプロの有名選手に指導して貰った位の感激を覚えると同時に、技術・闘魂・体力面で我々は更に鍛えなければ本場の彼等と拮抗し難い差と言うか、壁と言うかのモノが覆っているのを実感し、これが15人揃った集団と対抗するのは日本のラグビー界全体に更なる努力の必要性を痛感させられたからです。

上には上があるものですね。

現役の諸君の研鑽を願って止みません。

会費納入お願い

我々の会です。O.B間の連絡と、後輩支援とが円滑に行なえる為に、今年も貴方からの会費納入を宜敷くお願い致します。(同封の郵便局用紙ご利用下されば、手数料不要ですよ)

年会費 10,000円

- 住友銀行 天満橋支店
普通預金 No.957978 凌霜ラガークラブ
- 三和銀行 大阪駅前支店
普通預金 No.27557 凌霜ラガークラブ
- 郵便局
大阪 6-302152 (旧) 凌霜ラガークラブ
00960-4-302152 (新)